

オーストラリアで学んだこと



藍住東中学校 新居 果怜

私は初め不安な気持ちでいっぱいでした。先輩の出場する県総体へ応援に行くことが出来ない悲しい気持ちと初めて外国へ行くことへの不安でいっぱいでした。しかし、今思えば行って良かったと思います。

ホストファミリーはとても優しく接してくれました。学校が終わった後には、海に連れていってくれたり、馬をさわらせてくれたりしました。また夜ご飯は、おじいちゃん、おばあちゃんと食べました。ホストファミリーは私たちに気をつけてくれたのか、たまに日本食を出してくれました。それは寿司やてりやきチキンなどです。しかし、それらは日本のとは少し違う形や味をしていました。また夜になるとホストファミリーのハイジちゃんと一緒に折り紙をしました。ハイジちゃんは意外にも私たちの知らない折り紙を知っていて、とても驚きました。日本の文化がこれほど広がっていたのかと、感動しました。

ホストファミリーと過ごして、衣・食・住について日本とオーストラリアとの違いをたくさん学びました。



学校では、いろんな子と遊んだり、話したりできました。モーニングティーやランチの時に一緒に食べようと誘ってもらえた時はとても嬉しかったです。午前中はリチャード先生の語学プログラムでした。リチャード先生の授業は、とてもおもしろく、ためになりました。リチャード先生は私たちを楽しめるよう、ゲームもしてくれました。

私が学校で過ごして一番思い出に残っているのは、日本文化の発表です。私の出したクイズにも積極的に答えてくれました。初めは緊張していましたが、発表するにつれてとても楽しくなってきました。今でも覚えていてくれたらうれしいです。

ホストファミリーと別れる日の午前中は、家でゆっくりしていました。今までの出来事を振り返るには良い時間だったのかもしれませんが、本当にホストファミリーには感謝しています。



私は今回の海外派遣をとおして、人の優しさと日本との違いを学びました。私が 10 日間、充実した日々を過ごすことができたのは、身の周りの人のおかげだと思っています。ホストファミリーも学校の子もみんなフレンドリーでした。また、日本の文化とオーストラリアの文化は違いました。私の予想をはるかに上回っていました。私たちは教科書を使っていますが、オーストラリアの子はパソコンを使っていたり、モーニングティーがあったりと、驚くことばかりでした。

この海外派遣は私にとって良い経験になりました。